

## 検査・計測事業を基軸とした IIC の大きな成長に期待

株式会社 IHI 取締役 常務執行役員  
エネルギー・プラントセクター長  
兼 ソリューション統括本部長

浜村 宏光  
Hamamura Hiromitsu



私の大学時代の専攻学科は造船学で1976年にIHIへ入社しました。当時の大学研究室時代を振り返ってみると、卒論のための実験とその解析に追われる毎日だったような気がします。

当時の私の担当は、模型船を使用して船の抵抗や運動を解析するための実験が中心で、大掛かりな曳航試験水槽を必要としました。ただ、今と比較するとその計測のための機器やセンサーは「超アナログ的」で原始的なものでした。また、大学の水槽設備は、外部からの受託試験等もあるため、学生には限られた時間しか割り当てがなく、夜を徹して行うこともしばしば。しかもまともなデータとして計測できるのは、わずかに数分にも満たない計測データで、さらにそのアナログ実験データを拾い出して、大型コンピュータを使用して解析するという気の遠くなるような地道な試行錯誤の繰り返しでした。

あれから40年近く経過した現在、「ほとんどすべてがデジタル化され、データも大量に収集、瞬時に分析できてしまう」そんな計測技術・コンピュータ技術の進化を実感します。しかし、現在でも技術の進歩には「理論」とそれを裏付ける「地道な実験結果の積み重ね」がすべての原点であることに変わりないと思います。

株式会社 IHI 検査計測 (IIC) が設立されたのは1974年4月、まさにこの4月からはIICの40年目の歴史を刻もうとされています。設立以来、検査・計測技術を中心とした事業でIHIグループの重要な一員としての役割を担ってこれ、検査・計測に関

連する装置のエンジニアリングや製作・販売、計測結果の解析・評価や高精度化・高信頼性化に向けた取り組みに注力されています。そのことが、IHIグループ製品事業の品質保証、また寿命予測などの予防保全事業・信頼性向上に貢献していることは言うまでもありません。

さて、株式会社 IHI も1853年の創業から160周年を迎え、グループとして更なる成長を目指しています。グループ経営方針2013では、更なる成長に向けて「3つのつなぐ」をキーワードにIHIグループ自らが変革しようとしています。そのなかで、IHIグループの事業領域をさらに広げるための横軸機能の一つとして「高度情報マネジメント」が挙げられています。

IICは、今まで通りエネルギーセクター、原子力セクターなどIHIの機能分担事業が主力であることは言うまでもありませんが、この4月からは、これに加えて「高度情報マネジメント」という横軸機能としての重要な役割も担っていただくこととなります。

IICが、最新のICT (Information and Communication Technology)・センシング技術を最大限活用した制御・予防保全・リモートメンテナンスなどライフサイクルビジネスにも大きく寄与する事業分野を充実され、併せて自主事業の拡大を図られることを期待しております。一緒にIHIグループの成長に向けた変革に取り組みしましょう。